

平成 28 年度 事業報告

はじめに

世界の経済状況は、緩やかな拡大が見込まれるものの、米国のトランプ政権の発足や英国の欧州連合（EU）離脱問題等大きな変化に直面し、中国の成長鈍化基調が続く等により今後の見通しは不透明となっています。

国内経済は雇用・所得環境の改善が続く中、働き方改革の対応や個人消費で弱さがみられ、一般国民が景気回復を実感できる状況までには至っていません。

平成 29 年 3 月 31 日に総務省が公表した「労働力調査」では、本年 2 月の完全失業率は 2.8%となり、前月 3.0%と比較して 0.2%低下しました。完全失業者数は 81 か月連続で減少していますが、非正規の職員・従業員の割合は 37.1%と依然として高い水準で推移しています。出生率の低下や年金問題をはじめとする少子・高齢化問題や国の財政問題等で、国民の将来の生活設計に対する不透明感は払拭出来ず、日常生活に大きな影を落としています。

シルバー人材センター事業を取り巻く環境は、国及び地方公共団体の行財政改革の加速化や度重なる補助事業の見直し等により大きく変化しています。国の補助金はここ数年徐々に増加していますが一般会計からの支出が減少し、雇用保険特別会計からの支出が大幅に増えていることは、一つの懸念材料と言えます。

このような中、当センターでは、事業の基本理念「自主・自立、共働・共助」と働く上でのルール「安全と健康＝自己管理」並びに「適正就業」を基本に、平成 28 年度事業計画に基づいて、地域の皆様、公共団体、民間事業所等のご理解・ご協力を得ながら積極的な事業の展開に努めました。

1. 重点的な取組み

(1) 新たな就業機会の創出・拡大、就業機会の開拓・確保と 新規入会の促進及び会員サービスの向上

地域就業機会創出・拡大事業、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用して、会員の創意と工夫により、子育て支援や農業支援事業及び地域の企業の人手不足の解消を支援するために、たんぽぽ保育園の運営、介護関連事業の取り組み及び小売店（スーパー）や介護施設等の業務の受託を推進し、就業機会の創出・拡大に努めました。

新たな取り組みとして加古川市介護予防・日常生活支援総合事業参入のための準備を進め、加古川市より平成 29 年 3 月 27 日付け介護予防・日常生活支援総合事業の事業者指定を受けました。（平成 29 年 4 月 1 日から 6 年間）

加古川市と加古川市町内会連合会のご協力により、センターPR用チラシ

を加古川市内一般家庭に3回（7月、10月、3月）全戸配布し、就業機会の開拓と新規入会の促進に努めました。

また、加古川公共職業安定所のご協力により、毎週火曜日の午後にシルバー人材センター入会案内、入会相談を実施し新規入会の推進に努めました。

会員お得情報等の発信により会員へのサービス向上を図るとともにHPや会員向けの広報紙等によりセンターの魅力の発信に努めました。

(2) 公益法人としての社会的役割、責任と法令遵守

事業運営に関して、センターの社会的役割や責任の観点から、適切な運営を推進するとともに会員の事業への参画を推進し役職員が一体となった事業運営に努めました。

法令遵守の観点から、特に安全・適正就業において会員自らが日常生活や就業において「健康と安全＝自己管理」という意識のもと、センターにおける働き方についての正しい理解を得るために入会説明会、地区委員連絡会をはじめとする各種会議において啓発するとともに発注者のご理解ご協力を得るために広報紙や日常業務における説明等を通じた活動を推進しました。

併せて平成28年9月に厚生労働省が示した「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を活用して会員及び発注者を対象にセンターにおける働き方についての正しい理解を深めていただくための周知活動及び研修を実施しました。

(3) 第3次中・長期計画の推進

平成28年3月に策定した第3次中・長期計画を検証し、設定した目標を着実に達成するための取り組みとして、各種委員会活動で協議・検討し、「正会員会費の減免に関する規程」や「会員拡大の推進に関する報奨制度取扱要綱」の制定により、会員増の取り組みについて平成29年度の事業計画に反映しました。

2. 事業内容

(1) 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供活動

加古川市、加古川公共職業安定所をはじめとする関係機関・団体や民間企業、民間団体及び一般のご家庭等から高年齢者の就業に関する情報を収集し、電話、就業情報紙、就業情報掲示板（会員休憩室に設置）、電子メール及びHPを通じて、会員に組織的に提供して事業の発展に努めました。

また、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という）・公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会（以下「兵シ協」という）等への参画や他市町のシルバー人材センターとの連携による情報交

換により、高年齢者の就業に関する情報を収集し、会員に組織的に提供して事業の質的向上と量的拡大に努めました。

(2) 高年齢者の就業に関する調査・研究活動

役職員や会員が、全シ協・兵シ協等の各種研修会・講習会に積極的に参加し、高年齢者の就業に関する具体的な問題点（安全・適正就業の推進、一般労働者派遣事業、職業紹介事業、地域就業機会創出・拡大事業、事務処理の集中化及び自主事業等）について調査・研究して事業の発展に努めました。

(3) 高年齢者に対する就業相談の実施

毎月の入会受付・手続日に延べ 214 人（男 148 人、女 66 人）を対象に「就業相談」を実施しました。

随時相談に訪れる会員に「就業相談」を実施しました。

全会員を対象に「就業情報」（加古川まつり、通行量調査等）を提供し、88 人（うち未就業及び就業日数の少ない会員 65 人）が就業しました。

平成 29 年 3 月に未就業会員等を対象に就業相談会を実施、71 人（男 65 人、女 6 人）の相談を受け、21 人（男 18 人、女 3 人）の就業先が決定しました。HP 及び就業情報掲示板にお仕事情報を掲載して、就業情報を発信、25 人の問い合わせをいただきました。

(4) 高年齢者に対する就業機会の確保及び提供

① 受託事業

地域社会に密着した臨時的かつ短期的な仕事を一般家庭、民間事業所及び公共団体等から請負又は委任の形式で引き受けるために、会員をはじめ役職員一丸となって事業を推進した結果、本年度における請負・委任契約の事業実績（別表 1 参照）は、契約金額において 605,946,971 円となり、前年度と比較して約 2.7%の増、契約件数 6,008 件、就業実人員 1,136 人、就業延人員 125,214 人日、就業率 81.8%、年度末における会員数は、1,382 人（男 1,020 人、女 362 人）となりました。

② 自主事業

自主事業は、会員の創意工夫により企画・実施するもので、本年度は、地域就業創出・拡大事業で「いつまでもみんな元気に！健康管理支援事業」、「基礎学習支援事業」（おさらい教室）、「6次産業化の推進と耕作放棄地再生事業」を実施、従来のある事業として「緑のリサイクル事業」、「パソコン応援隊」、「シルバー便利屋さん」「手作り作品（手芸品）販売事業」「刃研ぎ」、「いきいき生涯学習事業」及びたんぽぽ保育園〔地域型保育事業の小規模保育事業（A型）〕の運営の 10 事業に取り組みました。

それぞれの事業は、緩やかにではありますが地域に浸透しつつあり、「パ

ソコン応援隊」では、公民館等で講座の講師として 41 講座を開催、個人の訪問指導にもお応えして活発な事業活動ができました。

「刃研ぎ」は毎週火曜日午前中にセンターにて作業を実施し、一般市民の皆様から好評を得ました。

「刃研ぎ」と「手芸品の販売」事業は、加古川市場まつり等各種イベントに参加し、シルバー事業の普及啓発と各事業の宣伝に効果がありました。

「緑のリサイクル事業」では、チップの堆肥化を実施、継続的に製品化して「EMチップ堆肥」として販売をしました。併せて「農業班」等が設置している有機栽培指導付きの貸農園事業等の活動を支援しました。

「たんぽぽ保育園」はシルバー人材センターの子育て支援の拠点として、園長を中心に保育士、管理栄養士、調理師等の連携のもと安心・安全をモットーに運営しています。

新たな事業として、東加古川公民館及び加古川西公民館の喫茶コーナーの運営をしました。

③ シルバー派遣事業

兵シ協が実施している「一般労働者派遣事業」を活用して、高年齢者の多様な就業ニーズに応えるための、就業形態の選択肢を増やすとともに、事業の適正化並びに法令遵守を推進しました。

結果として、契約金額 22,227,112 円、契約件数 38 件、就業実人員 57 人、就業延人員 4,951 人日となりました。(別表 2 参照)

④ 高年齢者のための有料職業紹介事業の実施

兵シ協が実施している「高年齢者の有料職業紹介事業」を活用して、センターの就業形態(請負・委任方式)に馴染まない高年齢者に適した臨時的、短期的な雇用の仲立ちをする事業で、本年度は合計 2 件 26 人の紹介を実施しました。

事業実績の総計は、契約件数 6,046 件、就業実人員 1,193 人、就業延人員 130,165 人日、契約金額は、628,174,083 円となり、前年度と比較して約 2.7% の増となりました。

(5) 高年齢者に対する講習会等の開催

会員の技能向上や安全・適正就業及び就業機会の拡大を図ることを目的に当センター主催で 8 種目 34 講習を開催し、合計 336 人の会員が受講しました。

(下表参照)

技能習得のための講習

講習名	コース	講習数	受講人数
植木剪定講習	3日間コース	3講習	19人
機械除草講習	1日間コース	3講習	39人
刃研ぎ講習	2時間コース	1講習	7人
家庭清掃基礎講習	3時間コース	8講習	70人

安全・適正就業のための講習

接遇講習	2時間コース	12講習	99人
救急救命講習	3時間コース	3講習	45人
交通安全講習（自動車運転）	3時間コース	1講習	10人
交通安全講習（自転車運転）	2時間コース	3講習	47人

また、兵シ協及び加古川公共職業安定所との連携のもと、シニアワークプログラム地域事業として地域の55歳以上シニア層を対象とした2種目2講習（清掃スタッフ講習1講習、マンション管理員養成講習1講習）を開催するとともに兵シ協主催の高齢者活躍人材育成事業で開催した剪定・除草スタッフ講習会、生活支援（介護・清掃・調理）講習及び送迎（福祉）ドライバー講習会に協力して高年齢者の技能の習得と就職や就業の場の提供及び確保に努めました。

(6) 普及・啓発活動の推進

シルバー人材センター事業の趣旨や活動システムについて、お客様の正しい理解と一般市民へのPRを行うため、加古川市と加古川市町内会連合会のご協力により、センターPR用チラシを加古川市内一般家庭に3回（7月、10月、3月）全戸配布しました。併せてチラシや広報紙の配布、HP等の広報活動を通じて、事業の普及啓発に努めました。

HPでは、会員の日頃の活動を掲載するとともに、引き続き「資格情報」を掲載し、顧客の要望に応じて受注開拓に努めました。

10月をシルバー人材センター普及啓発月間と設定して、10月22日（土）イオンタウン加古川（東神吉町出河原）において「シルバーふれあいフェスティバル2016」を開催するとともに、全シ協、兵シ協との連携のもと「シルバーの日」を中心に様々な活動を通じてシルバー事業の社会的意義を広める普及啓発に努めました。

会員が事業の適切な理解を得るための取り組みとして「シルバーだより」（5月、11月）、会報「還流」（7月、1月）及び「シルバーニュース」（9月、3月）を発行・配布しました。

(7) 安全・適正就業の推進

安全・適正就業は、シルバー人材センター事業の最優先課題であり、会員

が常に「安全と健康＝自己管理」という意識を持ち、事故の防止や健康管理に努めなければなりません。このため安全・適正就業推進委員会を中心に、会員の安全就業、健康管理及び適正就業の推進に努めました。

- 安全・適正就業推進委員会の開催（4回）
- 安全就業教育の実施（入会説明会時12回）
- 交通安全意識高揚のための啓発（全国交通安全運動、県事故防止運動）
- 安全就業パトロールの実施（安全・適正就業推進委員会2回、担当職員等は必要に応じて随時巡回パトロール、パトロールに関する評価は、概ね良好であり、ヘルメットの着用等は確実に行われていました。）
- 職種別の安全講習会の実施（技能講習時15回）
- 接遇講習の実施（12回）
- 救急救命講習・自動車・自転車の安全運転講習の実施（7回）
- 健康管理に関する講座（地区・地域親睦会7回）
- 適正就業の推進のため長期就業の解消に努めました。
- 正会員の安全・適正就業に係る就業制限に関する基準を活用して、会員の事故防止や適正就業に努めました。
- 平成28年度に事故を起こした会員に4回の委員会毎に出席を求め、事故発生の状況の再確認と事故の抑止に努めました。結果として、事故発生件数は合計13件で前年度と比較して5件の減となりました。
- 平成28年9月に厚生労働省が示した「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を活用して、発注者に対してシルバー人材センターにおける働き方について周知し、会員に対しては周知と必要に応じて研修を実施して、適正就業の推進に努めました。

(8) 組織の充実

① 部会・委員会の組織の見直しと活用

時代の変化や地域のニーズに的確に対応するために総務・地域活動委員会、広報委員会、福利厚生委員会、業務・就業開拓委員会、安全・適正就業推進委員会、女性会員拡大委員会の各種委員会を開催し、委員会毎のテーマを設定して会員からの提案等を活用した事業の推進に努めました。

各委員会の協議、検討状況は「委員会だより」として5回に渡り全会員に配布しました。

② 女性の入会促進と就業拡大

「家事援助サービス事業」のコーディネーターを配置し、事業に関する講習会（家庭清掃基礎講習、認知症サポーター養成講座、作って遊んでつながって、手芸講習等）を実施し、女性会員の活躍の場を提供するとともに、女性会員拡大委員会を開催して女性会員の入会促進に努めました。

女性会員拡大委員会では、7月に女性部「よっといで加古川」を立ち上

げ、その主催事業として7月、9月、11月、1月及び3月にセンター2階会議室で「女性の集い」を開催しました。

また、会報「還流」やシルバーニュースを発行・配布、ポスターの掲示、パンフレットの配付及びHPにより、女性の入会を促進しました。

③ 地域班組織の充実

センターは「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域の高年齢者が共に助け合い共に働く自主的な組織で、地域社会の理解と協力を得ることにより、活発な活動ができます。そのために、地域班活動の活性化に努めました。

地域班活動では、8地区18地域の地区委員及び世話人45人の積極的な活動により、センター役員や事務局と会員とのパイプ役としての役割を果たすとともに地区毎にそれぞれ工夫を凝らした親睦会等を実施しました。

また、引き続き「誰にでも出来るボランティア」として収集ボランティア（アルミ缶プルタブ、ペットボトルのキャップ、古切手、ベルマーク）に取り組みそれぞれ関連団体に寄付しました。これらの活動により会員相互の連帯意識の高揚と事業の普及啓発並びに社会貢献に努めました。

④ 職群班組織の充実

機械除草班、人力除草班、植木班、家事援助班及び便利屋班等において、地域毎の就業を推進し、各地域の会員がそれぞれの地域で就業するシステムが整い、より一層地域社会に貢献するための体制づくりと安全就業の徹底に努めました。

(9) 福利厚生事業の充実と活用

福利厚生委員会が主体となって、会員の親睦及び相互共助並びにセンターの発展に努めました。

平成28年5月に親睦バス旅行を計画・実施、平成28年11月にレクリエーション大会を計画・実施、慶弔見舞金の給付、各種同好会等への助成及びHPや会報「還流」で会員お得情報を発信しました。

また、10月に開催したシルバーふれあいフェスティバル2016では、会員の皆様の参画のもと初めて民間商業施設で開催しました。

(10) ISO9001 認証継続

平成26年4月21日3回目の認証を取得したISO9001を継続的に維持、改善するために、品質目標推進会議、事務局会議をはじめ職種別の世話人会や接遇講習を開催して、提供サービス（作業）の平準化・標準化と顧客満足度の維持及び継続的改善を図り、事業の拡大と質的向上に努めました。

平成29年2月27日に3年毎の認証審査（4回目）を受け、不適合（マイ

ナー) 1件の指摘があり、是正処置の後、適合の判定を受け、平成29年4月に4回目の認証を受けることとなりました。

(11) 法人としての一般事業

ア 定款に定める会議

① 定時総会

平成28年5月26日(木) 加古川市民会館 小ホール

主な内容 (決議事項) 平成27年度決算の承認、役員を選任、
(報告事項) 平成27年度事業報告、平成28年度事業計画、収支予算

② 理事会

(第1回) 平成28年5月10日(火) センター会議室

主な内容 入会承認、平成27年度決算、役員を選任の承認、補正予算(第1回)、事業報告、

(第2回) 平成28年5月26日(木) 加古川市民会館 会議室

主な内容 代表理事(理事長・副理事長)、業務執行理事(常務理事)の選定、各種委員会委員長の選出

(第3回) 平成28年7月28日(木) センター会議室

主な内容 入会承認、フェスティバル2016開催承認、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告等

(第4回) 平成28年9月29日(木) センター会議室

主な内容 入会承認、レクリエーション大会開催承認、委員会報告、代表理事・業務執行理事の業務報告等

(第5回) 平成28年11月25日(金) 東京田村(プラザホテル)

主な内容 入会承認、新規事業承認、委員会報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、フェスティバル・レクリエーション大会報告等

(第6回) 平成29年1月26日(木) センター会議室

主な内容 入会承認、介護事業参入承認、委員会報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、シルバー適正就業ガイドライン説明等

(第7回) 平成28年3月17日(金) センター会議室

主な内容 入会承認、会費減免に関する規程承認、会員拡大推進ための要綱承認、補正予算承認、事業計画・収支予算の承認、委員会報告、代表理事・業務執行理事の業務報告等

③ 監事監査

平成28年4月28日(木) センター会議室

内容 平成27年度 事業及び会計に係る監査

平成28年11月14日(月) センター理事長室

内容 平成28年度 事業及び会計に係る中間監査

イ その他の会議

総務部会

(総務・地域活動委員会)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
6	17	金	第1回 所掌事項の確認、本年度の日程主な取組みについて	会議室
9	16	金	第2回 ふれあいフェスティバル2016の開催について	会議室
11	18	金	第3回 フェスティバルの報告、第4回地区委員連絡会開催予定	会議室
12	16	金	第4回 会員拡大の取組み、第5回地区委員連絡会議開催予定、 シルバー人材センターの適正就業ガイドライン説明	会議室
3	24	金	第5回 シルバーの現状報告、第6回地区委員連絡会議開催予定	会議室

(広報委員会)

期 間	主 な 内 容	場 所
5 27 金	第1回 所掌事項の確認、「還流」69号の発行について	会議室
6 月	「還流」69号発行の準備(原稿収集、構成、校正等) 7月1日付け「還流」第69号発行・配布	会議室
10月～12月	「還流」70号発行の準備(原稿収集、構成、校正等) 1月1日付け「還流」70号発行・配布	会議室

(福利厚生委員会)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
4	28	木	第1回 平成28年度会員親睦旅行の最終準備、シルバーふれあいフェスティバル2016実行委員会の立ち上げについて	会議室
6	22	水	第2回 フェスティバル、レクリエーション大会について	会議室
8	4	木	第1回フェスティバル実行委員会 委員長・副委員長の選出、開催目的、日程、場所、内容、PR方法等について検討	会議室
8	31	水	第2回フェスティバル実行委員会 開催目的、日程、場所、内容・会場レイアウトと当日のスケジュール決定、役割分担の決定	会議室
9	7	水	第3回 シルバーふれあいフェスティバル2016実行委員会報告及びレクリエーション大会の開催について、	会議室
10	14	金	第3回フェスティバル実行委員会 展示・催しの最終点検、当日役割等の採取確認、メイン会場・物販会場の責任者の選任	会議室
11	11	金	第4回フェスティバル実行委員会 フェスティバル反省会	会議室
1	16	月	第4回 平成29年度親睦旅行及びレクリエーション大会の計画、各種同好会等への助成金の支出について	会議室

事業部会

(業務・就業開拓委員会)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
6	17	金	第1回 所掌事項の確認、事業PR、新規事業、会員に支払う配分金等について、仕事の提供方法、職域班の活性化等について	会議室
10	7	金	第2回 事業の進捗状況、就業開拓の状況、就業創出の状況及び配分金の見直しについて	会議室
12	2	金	第3回 事業の進捗状況(事業高、会員数等)、平成29年度就業創出検討、配分金の見直し	会議室
1	20	金	第4回 配分金の見直し、ポスティングの強化について	会議室
3	3	金	第5回 配分金基準額決定、平成29年度料金表の決定、会員の入会促進について検討	会議室

(安全・適正就業推進委員会)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
6	15	水	第1回 所掌事項の確認、事故報告と防止対策、発生事故の検証、安全就業推進月間の取組について(パトロール等)	会議室
7	29	金	安全就業パトロール 2班に分かれて各現場をパトロール	会議室外
9	16	金	第2回 事故報告と防止対策、秋の交通安全運動期間中の取組み	会議室外
11	18	金	第3回 事故報告と防止対策、年末の交通事故防止運動期間中の取組み、各種講習会の開催予定	会議室
2	17	金	第4回 事故報告と防止対策、平成29年度予定、安全就業パトロール	会議室外

(女性会員拡大委員会)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
6	17	金	第1回 所掌事項の確認、女性の集いの年間計画について	会議室
9	23	金	第2回 女性会員増の取組、フェスティバルの協力体制について	会議室
12	9	金	傾聴事業の先進地の公益社団法人芦屋市シルバー人材センターへ視察研修	芦屋市
12	16	金	第3回 よっといで加古川の報告・意見聴取、傾聴講習開催予定	会議室
1	14	土	第4回 傾聴講座の開催計画について協議	会議室
2	24	金	第5回 明石市SC女性部と合同開催、傾聴講座の開催予定、よっといで加古川の年間予定、平成29年度予定の検討	会議室

(地区委員連絡会議)

月	日	曜	主 な 内 容	場 所
5	13	金	第1回 現況報告、予定説明、 (シルバーだより事業報告・決算等、)	会議室
6	24	金	第2回 現況報告、予定説明、 (還流、熱中症、ハチ・虫対策等)	会議室
9	23	金	第3回 現況報告、予定説明、 (シルバーニュース、フェスティバル等)	会議室
11	25	金	第4回 現況報告、予定説明、(シルバーだより等)	会議室
12	22	木	第5回 現況報告、予定説明、(還流等)	会議室
3	31	金	第6回 現況報告、予定説明、 (シルバーニュース、事業計画、予算等)	会議室

(地区・地域親睦会)

月	日	曜	地区・地域	内 容 等	実 施 場 所
7	30	土	健友会地区	認知症サポーター養成講座、 播州音頭、食事会	加古川北公民館
7	31	日	加古川・鳩里地 域	輪投げ、ビンゴゲーム、 認知症サポーター養成講座、食事会	粟津神社社務所
8	28	日	両荘地区	認知症サポーター養成講座、 輪投げ、ビンゴゲーム、食事会、	両荘公民館
9	13	火	川西地区	認知症サポーター養成講座、 ビンゴゲーム、食事会、	加古川総合運動公園
10	1	土	志方地区	グラウンドゴルフ	志方東公園グラウン ドゴルフ場
10	18	火	浜手地区	ペタンク、食事会、健康講座、 ビンゴゲーム	尾上公園
10	29	土	平岡地区	健康講座、食事会、輪投げ、 ビンゴゲーム	平岡会館
10	29	土	氷丘地域	グラウンドゴルフ、食事会	河川敷緑地(河原地 区)、シルバー会議室
10	30	日	野口地区	グラウンドゴルフ、食事会、 認知症サポーター養成講座、 ビンゴゲーム	J A加古川南グラウンド「ふ れあい広場」、 野ロコミュニティ会館

(別表1)

平成28年度 事業実績

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

会員数 1,382人 (男 1,020人、女 362人)

職群 區別	民間事業			公共事業		
	件数 (件)	延人員 (人日)	契約金額 (円)	件数 (件)	延人員 (人日)	契約金額 (円)
技術	63	3,177	8,272,235	4	1,227	5,173,100
事務	23	550	4,050,522	10	394	1,536,348
管理	30	8,881	42,547,131	18	13,388	55,078,520
外交	7	1,021	5,376,512	3	372	3,150,950
技能	3,871	16,336	97,266,559	42	2,326	18,501,431
一般作業	1,123	40,328	163,944,399	90	20,615	117,563,132
サービス	709	12,571	72,579,439	15	4,028	10,906,693
合計	5,826	82,864	394,036,797	182	42,350	211,910,174
総合計				6,008	125,214	605,946,971

(別表2)

請負等事業及びシルバー派遣事業
平成28年度事業実績一覧
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

項目	契約件数 (件)	就業実人員 (人)	就業延人員 (人日)	契約金額 (円)
請負等事業				
平成27年度	6,154	1,112	122,555	590,173,316
平成28年度	6,008	1,136	125,214	605,946,971
前年度対比	97.6%	102.2%	102.2%	102.7%
シルバー派遣事業(兵シ協 加古川市事務所)				
平成27年度	34	46	4,790	21,199,302
平成28年度	38	57	4,951	22,227,112
前年度対比	111.8%	123.9%	103.4%	104.9%
合計(請負等事業+シルバー派遣事業)				
平成27年度	6,188	1,158	127,345	611,372,618
平成28年度	6,046	1,193	130,165	628,174,083
前年度対比	97.7%	103.0%	102.2%	102.7%